

□ 国の算出方法 ※市独自に算出することも可能

①	必要受入時間数 (時間/月)	0歳6か月から満3歳未満の未就園児童数 × 月一定時間(10時間が基本) ※ 上記の算出式に利用割合を乗じて算出することも可能
②	必要利用定員 ⇒確保方策 (人日/月)	必要受入れ時間数(①) ÷ 定員一人1月当たりの受入れ可能時間数(176時間(8時間×22日)が基本)

□ 現行計画における数値目標 ※ 計画では対象年齢ごとの必要定員数を算出(未就園児数)

	R7	R8	R9	R10	R11
未就園児童数 (人)	2,928	2,909	3,000	3,016	3,033

児童一人1月あたりの利用可能時間 × 10時間



(必要受入時間数①)

	R7	R8	R9	R10	R11
必要受入時間数 (時間/月)	29,280	29,090	30,000	30,160	30,330

定員一人1月当たりの受入れ可能時間 ÷ 176時間



(量の見込み・確保方策②) 現行の計画値

	R7	R8	R9	R10	R11
量の見込み (人日/月)	166	165	170	171	172
確保方策 (人日/月)	21※	165	170	171	172

※ 4事業所による実施を踏まえ設定

現在、計画で定めている必要利用定員数(量の見込み・確保方策)は、こども誰でも通園制度を実施する前に設定しているため、**利用割合は考慮していない**



安定的で持続可能な制度運営を実施するためには、過不足のない施設整備が不可欠



令和7年度実績及びアンケート調査結果を踏まえ、「**量の見込み**」と「**確保方策**」の**見直し**を実施

❑ (変更後)こども誰でも通園制度の数値目標(案)

(未就園児数)

	R7	R8	R9	R10	R11
未就園児童数	2,928	2,909	3,000	3,016	3,033

こども誰でも通園制度を利用したいと思う人の割合



× 66.9%
(アンケート結果より)

(利用認定者数)

	R7	R8	R9	R10	R11
利用認定者数	1,959	1,946	2,007	2,018	2,029

利用認定した人のうち、実際に利用した人の割合



× 33.3%
(利用実績より)

(利用者数)

	R7	R8	R9	R10	R11
利用者数	652	648	668	672	676

平均利用時間



× 7時間
(利用実績より)

(必要受入時間数)

	R7	R8	R9	R10	R11
必要受入時間数	4,566	4,536	4,678	4,703	4,730



÷ 176時間

(必要利用定員数)

	R7	R8	R9	R10	R11
必要利用定員数 (量の見込み)	28	28	29	29	29

アンケート調査

調査期間：令和7年10月1日～15日
対象者：対象児童の全保護者
(2,448人)
※R7.9.1時点
調査方法：全戸へ個別通知(郵送)
回答方法：郵送又は電子申請
回答者数：305人



利用実績(令和7年9月)

利用認定者数：219人

利用者数：73人



× 10時間

(必要受入時間数)

	R7	R8	R9	R10	R11
必要受入時間数	6,523	6,481	6,683	6,719	6,757



÷ 176時間

(必要利用定員数)

	R7	R8	R9	R10	R11
必要利用定員数 (確保方策)	12※	38	40	40	40

※実績ベース